

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【公表番号】特表2010-502734(P2010-502734A)

【公表日】平成22年1月28日 (2010.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-004

【出願番号】特願2009-527565(P2009-527565)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/22 (2006.01)

A 6 1 K 38/43 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/48 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 37/24

A 6 1 K 37/48

A 6 1 K 37/465

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 43/00 1 0 1

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 47/42

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月24日 (2010.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

融合タンパク質および医薬的に許容される担体を含む治療用組成物であって、前記融合タンパク質は、G L P - 1 および少なくとも 1 つのエラスチン様タンパク質 (E L P) 成分を含み、G L P - 1 は、その非融合対応物と比較して血液循環において延長された半減期を有する、治療用組成物。

【請求項 2】

前記 E L P 成分は、配列番号 1 ~ 1 2 から選択される反復単位を 1 つ以上含む、請求項 1 に記載の治療用組成物。

【請求項 3】

前記 E L P 成分は、V P G X G、I P G X G、および / または L P G X G の反復を含み、各 X は、独立して選択される天然アミノ酸である、請求項 2 に記載の治療用組成物。

【請求項 4】

各 X は、アラニン、アルギニン、アスパラギン、アスパラギン酸、グルタミン酸、グルタミン、グリシン、ヒスチジン、イソロイシン、ロイシン、リジン、メチオニン、フェニルアラニン、セリン、トレオニン、トリプトファン、チロシン、およびバリン残基から独立して選択される、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 5】

前記 E L P 成分は、V P G X G 反復を含み、各 X は、約 5 : 2 : 3 の割合の V、A、及び G である、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 6】

前記 E L P 成分は、10、20、30、60、90、120、150、または 180 の V P G X G 反復単位を含む、請求項 5 に記載の治療用組成物。

【請求項 7】

前記 E L P 成分は、V P G X G 反復を含み、各 X は、約 1 : 2 : 1 の割合の K、V、および F である、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 8】

前記 E L P 成分は、4、8、16、32、64、または 128 の V P G X G 反復単位を含む、請求項 7 に記載の治療用組成物。

【請求項 9】

前記 E L P 成分は、少なくとも 90 の反復単位を含む、請求項 4 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 10】

前記 E L P 成分は、120 の反復単位を含む、請求項 9 に記載の治療用組成物。

【請求項 11】

前記 E L P 成分は、V P G X G 反復を含み、各 X は、約 1 : 7 : 1 の割合の K、V、および F である、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 12】

前記 E L P 成分は、72 の 9 単位反復を含む、請求項 11 に記載の治療用組成物。

【請求項 13】

前記 E L P 成分は、144 の 9 単位反復を含む、請求項 11 に記載の治療用組成物。

【請求項 14】

前記 E L P 成分は、V P G X G 反復を含み、X は、バリンである、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 15】

前記 E L P 成分は、I P G X G 反復を含み、X は、バリンである、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 16】

前記 E L P 成分は、L P G X G 反復を含み、X は、バリンである、請求項 3 に記載の治療用組成物。

【請求項 17】

前記 E L P 成分は、少なくとも 1 つの A V G V P 反復単位を含む、請求項 2 に記載の治療用組成物。

【請求項 18】

前記 E L P 成分は、30 の反復単位を含む、請求項 14 ~ 17 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 19】

前記 E L P 成分は、G L P - 1 の C 末端で共有結合している、請求項 1 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 20】

G L P - 1 と前記 E L P 成分との間にスペーサー配列をさらに含む、請求項 1 ~ 19 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 21】

前記組成物が非経口投与用に製剤化される、請求項 1 ~ 2 0 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 2 2】

前記組成物が皮下投与、筋内投与、静脈内投与用に製剤化される、請求項 2 1 に記載の治療用組成物。

【請求項 2 3】

治療による処置方法で使用するための、請求項 1 ~ 2 2 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。